

# 四季彩

NO.1  
自立・夢・挑戦

## 30年度がスタートしました

今年度も、4月9日の着任式・始業式により1年のスタートを切り、4月11日には入学式で160名の新入生を迎え全校生徒が505名となりました。この505名一人一人が、自分らしく自分自身の可能性を伸ばし、輝ける1年になることを願っています。

### 平成30年度学校経営方針

#### 学校教育目標

自立して夢や目標の実現に挑戦する生徒の育成  
**自立・夢・挑戦**

#### 《めざす生徒像》

- 夢や目標をもつ生徒
- 思いやりを持ち、互いに認め合い高め合える生徒
- 自ら考え判断し行動できる生徒
- 自分や八景中学校に誇りをもつ生徒

【中学校区共通目標】人も自分も、学校もふるさとともに大切にできる子

#### 《めざす学校像》

- 学校、家庭、地域が一体となって取り組む学校  
「チーム八景～誰もが誇れる八景中学校に」
- 活気に満ち、規律ある学校
- 学ぶ環境の整った美しい学校
- 信頼される学校
- 協働できる教師

#### 《経営方針》

- 命と人権の大切さを基盤にした教育を推進する
  - ・道徳・人権教育の充実
  - ・安全教育の推進
  - ・防災教育の充実
- 自主的に学ぶ姿勢を養い、確かな学力を育成する
  - ・学習指導の充実
  - ・学力分析に基づいた、学習指導の工夫と改善
  - ・キャリア教育の充実
- 個々の生徒の素晴らしさを認め、活かす教育を推進する
  - ・自尊感情の育成
  - ・生徒指導の充実
  - ・教育相談、学習相談活動の充実
  - ・特別支援教育の充実
  - ・部活動、生徒会活動・生徒ボランティア活動の活性化
- 家庭・地域・関係機関との連携を推進する
  - ・PTAとの連携の充実
  - ・地域・学校支援ボランティアの活用
  - ・保小中連携の推進
- 勤務時間の適正化
  - ・ワークライフバランスのとれた教職員

### ご入学おめでとうございます。

4月11日(火)9時55分「新入生入場」のアナウンスの後、160名の新入生が、1人1人しっかりと前を向いて会場に入場してきました。新入生の呼名でも、全員が力強く返事をし、起立する姿から、これから始まる中学校生活への希望と決意が感じられました。これからは、誰かが、してくれるのではなく、自分から考え、行動し互いに認め合い高め合い、より良い八景中学校を作り上げていってください。

これから、始まる3年間は、誰もが平等に与えられた時間です。その3年間を楽しみ、幸せに過ごすことも平等に与えられた権利です。3年後、誰もが満足感を持って巣立っていくことを願っています。

#### 新年度のスタートにあたり

今年度の八景中学校の学校教育目標は、「自立して夢や目標の実現に挑戦する生徒の育成」です。キーワードは、**自立・夢・挑戦**の3つです。

自立するためには、自ら考え判断し、行動していかねばなりません。学習も部活動も委員会、係活動も、自分は何をすべきか、何を望んでいるのかしっかりと考え行動していきましょう。「他人にやらされている。」のではなく「自分からする。」ことが大切です。

**夢や目標**は、できるだけ具体的に持ちましょう。「できたらいいな」とか「なればいいな」というのではなく、「できる」「なれる」という決意を持ちましょう。

まず**大きな夢**を持ち、その夢をいつ達成するのか考えてみましょう。5年後、10年後になるかもしれません。その夢を実現するためのステップを考えてみましょう。そのステップが**目標**です。目標を1つずつ達成していくことが、夢への階段になります。

夢への計画ができれば、とりあえず前に進みましょう。それが**挑戦**です。どんなに小さな一歩でも、前に一歩踏み出せば、夢に近づきます。前に進めば、必ず夢が実現します。ただ、夢の実現は、なかなか一人だけで達成することができません。そこで大切なのは、**感謝の気持ち**を持つことです。周囲の人たちに「ありがとう」という感謝の気持ちを持ち続けていけば、君たちの挑戦を応援し、手助けしてくれる人が必ず現れます。これからは、**日々感謝の気持ち**を持ち続けてください。

吉田松陰の言葉から考えられること。

夢ある者に理想あり。理想ある者に計画あり。計画ある者に実行あり。

実行ある者に成功あり。故に夢ある者に成功あり。

ということから、**夢**を持ち、その夢の実現に挑戦していけば、成功します。

### 本を読もう

八景中学校の課題の1つに読書活動があります。読書にかかる時間も、1か月に読む本の冊数も全国平均より下回っています。1か月、1冊の本も読まない人も多くいます。本を多く読む人は、読まない人に比べ学力が高いというデータもあります。学力だけでなく、読書は、心を豊かにしてくれます。是非、今年度みなさん、月1冊は本を読んでください。そこで、今月のおすすめ本。全国の書店員が最も売りたい本を選ぶ「2018年本屋大賞」が、発表され、辻村深月さんの『かがみの孤城』に決まりました。この本は、中学生が主人公のファンタジーでお勧めですが、今月は、昨年受賞の「蜜蜂と遠雷」を読んでみてください。この本は、ピアノコンクールに出場し優勝を争う3人の天才と年長のピアニストたちの物語です。ピアノや音楽にあまり興味がなくても自分を信じ夢に向けて挑戦する者たちの姿に感動する作品です。ぜひ読んでみてください。